

経過	入院日	2日目	3日目	4日目～管が抜ける	退院予定
月/日	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/)
達成目標	1, 不安や疑問を表出できる 2, 治療内容が分かる		3, 痛みのコントロールが出来る 4, 息苦しさが軽減される		5. 胸の管が抜けて退院できる
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> ●胸のレントゲン写真をみて、胸に管を入れることがあります 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・呼吸・血圧の測定を毎日行います ●胸に管が入っています 抜けないよう注意して下さい ●回診で胸の管の挿入部の確認をします 		<ul style="list-style-type: none"> ●空気洩れの有無を確認し、管を抜く準備をします ●翌朝レントゲン結果により胸の管を抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> ●管を抜いた傷口を消毒し、保護テープを貼ります 
点滴	●基本的に点滴はありません				
内服薬	●痛みが強いときは、我慢せずに声をかけて下さい。痛み止めをご用意できます				
検査	●採血、検尿、胸部レントゲン、CT、心電図の検査することがあります	●胸部レントゲンを撮影し経過をみていきます。			
食事	●食事の制限はありません 				
活動	●安静度自由 ●呼吸改善の為にベッドの頭の方を上げます	●ベッドサイドから歩行できます トイレにも歩いていけます			
清潔	●胸の管が入っている時は入浴はできませんので、下半身のみのシャワーとなります	●希望時洗髪ができます。看護師が介助しますので、お声がけ下さい			●胸の管が抜けた翌日に全身シャワー浴ができます 
説明	●リハビリテーションについて説明があります ●医師より病状の説明があります			●空気洩れが止まらなければ手術に移行する場合があります	●主治医から退院の許可がおり師長と相談し退院日が決まります。次回外来予約票をお渡しします。退院療養計画書にて今後の留意点を説明します
備考					●胸の管を抜去した翌日、レントゲンで肺の縮まりがない時は退院が可能です

入院期間については現時点で予想されるものです。

担当看護師： _____

患者・家族： _____